

第3回 歴史の福井谷

兵糧を腰に中世の山城を体験

去る10月16日(日)、第3回の「歴史の福井谷」体験ツアーを実施しました。参加者は8名(内子ども4名)とスタッフ15名の計23名。

上直谷公民館で開会式を済ませた後、戦に出かける時の腰兵糧(こしびょうろう=弁当)をみんなでつくりました。おにぎりは古代米や玄米のごはん、これに梅干しやめざしなどをおかず、葉ランで巻きました。

腰兵糧を身に付け、追手道から主郭へと向かいました。途中、4層になった土塁や井戸の跡、武者溜りなどを、和田隆さんのガイドが続きました。(写真1)

40分程で、県道から標高約80mの主郭へ到着。かつては桜も咲き誇っていたという主郭の広場へ着くと、さっそく弓矢と姫落とし伝説の残る岩場を降りてみるという体験が始まりました。

弓は縄文時代の弓を復元したというもので、〈かや〉や〈つばき〉等で作られており、100mは飛ばらしい。(久村さんの研究物)これに矢をつがえて的(イノシシの絵)を射ます。一矢ごとに歓声も上がっていました。(写真2)

姫落としの伝説が残る岩場は、25m以上もある岩がそそり立つところ。ここを北松山岳会の皆さんのサポートを得ながら、ロープワークで降りていくという体験。安全ベルトを着けているとはいえ、足元は怖いばかりの絶壁。やっぱり足がすくみます。(写真3)

お昼はもちろん腰兵糧。自分で作った弁当を開いて美味しそうにほおばられていました。(写真4)

その後3万年以上も昔、人が暮らしていたという『福井洞窟』へ。ここではかつて発掘調査をされた佐世保市学芸委員の久村さんからお話を伺いました。(写真5)

すばらしい秋晴れの下、楽しい体験ツアーができました。



写真2



写真1



写真4



写真3



写真5

お話をいただいた県の文化財審議員の吉福清和さん、久村貞夫学芸委員(元佐世保市教委)、また、北松山岳会の皆さん、ありがとうございました。